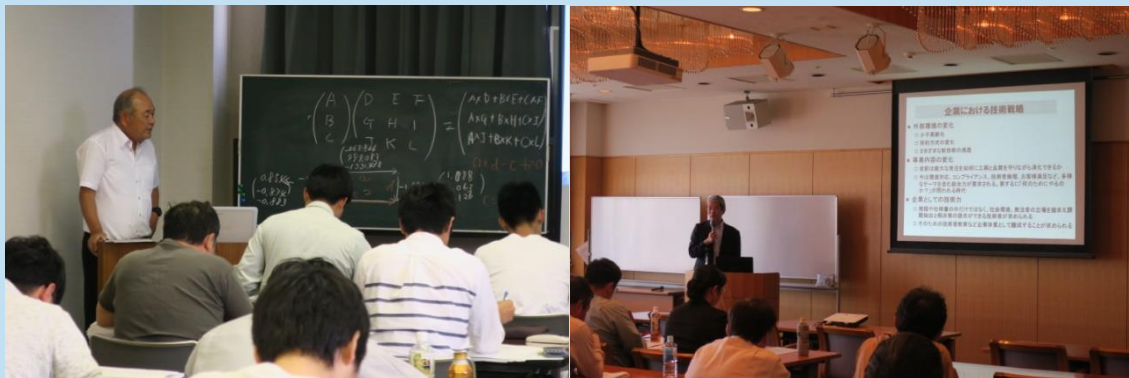


北 陸 支 部 報

2019/8/14
第 13 号



「基準点B課程」(元年5月21日～26日) 測量CPD活用セミナー(平成30年10月5)

目 次

令和元年度北陸支部業務報告会	2
令和元年度北陸支部役員名簿	3
公共測量品質管理優秀賞2社を表彰	5
令和元年度北陸支部空間情報技術事例発表会開催	5
令和元年度北陸支部事業計画	10
行事等の報告	11
会員の増減状況	13



公益社団法人

日本測量協会

北陸支部



令和元年度 北陸支部業務報告会

北陸支部では、7月9日（火）に富山市の「グランテラス富山」において、令和元年度北陸支部業務報告会を開催しました。

この報告会は、平成26年度から会員の皆様が業務報告会に参加しやすい環境を整備するためにより近い場所で開催することにしております。新潟県、富山県、石川県、福井県と順次開催を行っており、各県を一巡し今回の富山県では2回目の開催となりました。

鹿田支部長から挨拶の後、日本測量協会村上副会長から本部挨拶、住田常務理事から現状報告があり、昨年度も順調に業務が遂行されていること、本部の後楽園再開発地区への移転計画の進捗状況、正会員が過去最高の13,000人を越え毎年増えていること等の説明がありました。

この後、事務局から平成30年度支部事業報告の要旨及び令和元年度の事業計画の要旨及び収支状況と予算について説明と報告を行いました。

また、令和元年度の役員については、各県の測量設計業協会の役員改選が無かったことから役員の変更が無かった事を報告しました。



令和元年度 北陸支部役員名簿

支 部 長	鹿 田 正 昭	金沢工業大学	副学長
副 支 部 長	中 西 誠 一 郎	(一社) 福井県測量設計業協会 (株) 帝国コンサルタント	会 長 代表取締役社長
〃	山 岸 陽 一	(一社) 新潟県測量設計業協会 (株) 山岸測量事務所	会 長 代表取締役
幹 事 長	榮 知 之	(一社) 富山県測量設計業協会 (株) 北陸コンサルタント	会 長 代表取締役会長
幹 事	佐 治 力	(一社) 新潟県測量設計業協会 新潟県上越国土測量 (株)	副会長 代表取締役社長
〃	吉 澤 隆	(一社) 新潟県測量設計業協会 (株) 長 測	副会長 代表取締役社長
〃	荒 井 隆 二	(一社) 新潟県測量設計業協会 荒井測量設計(株)	副会長 代表取締役
〃	市 森 友 明	(一社) 富山県測量設計業協会 (株) 新日本コンサルタント	副会長 代表取締役社長
〃	金 木 春 男	(一社) 富山県測量設計業協会 (株) 上智	福会長 代表取締役
〃	新 家 久 司	(一社) 石川県測量設計業協会 (株) 国土開発センター	会 長 代表取締役社長
〃	磯 野 秀 和	(一社) 石川県測量設計業協会 (株) 北日本ジオグラフィ	副会長 代表取締役社長
〃	黒 木 康 生	(一社) 石川県測量設計業協会 (株) 日本海コンサルタント	専務理事 代表取締役社長
〃	毛 利 茂 則	(一社) 福井県測量設計業協会 ジビル調査設計 (株)	副会長 代表取締役社長
〃	吉 田 直 人	(一社) 福井県測量設計業協会 (株) 第一コンサルタンツ	専務理事 代表取締役社長

支部長挨拶（業務報告会）

鹿 田 正 昭

本日は公益社団法人日本測量協会北陸支部令和元年度業務報告会にご多忙のところご出席をいただきありがとうございました。また、協会本部からは村上副会長と住田常務理事様にご出席をいただきました。ありがとうございます。

日頃は支部役員及び会員の皆様方にはいろいろとご支援及び御協力を頂いておりますことを深く感謝申し上げます。

さて、6月25日に開催された協会本部総会の事業計画を要約しますと、

第一に、ホ測量技術及び地理空間情報に関する諸問題の調査研究、ホームページの充実、各種出版物の刊行、測量・地理空間情報イノベーション大会の実施など会員サービスの向上に努めること。

第二に、空間情報総括監理技術者資格制度、地理空間情報専門技術認定制度の充実やサーベイアカデミー等の講習会を積極的に推進し、測量及び地理空間情報の普及発達と専門技術者の社会的地位向上、ならびに測量系CPDの普及に努めること。

第三に、測量業務の環境変化と顧客ニーズに的確に対応しつつ、測量機器の検定、測量成果の品質保証を確保し、測量・地理空間情報コンサルタント業務に関する調査研究を推進すること。

第四に、測量技術センターの建設により廃止となったつくば事務所の後処理を着実に実施するとともに2021年3月に予定の春日・後樂園地区への移転を的確にすることなどが述べられています。

一方、北陸支部では平成26年度から北陸支部会員の若手技術者が携わった業務内容を発表できる機会である「北陸支部 空間情報技術事例発表会」を開催し、最優秀賞の論文は本部の査読付きの「空間情報事例報告集」に投稿していただいています。

今年は2巡の富山開催ということになります。「空間情報技術事例発表会」は、若手技術者の研鑽及び北陸支部会員法人の技術力向上を目指しているところです。また、「空間情報事例報告集」投稿論文は空間情報総括監理技術者試験の資格要件にある「査読付き論文」として評価されます。今年は、富山県内企業を中心に4件に加え地元の富山大学から学生の方2件の発表頂くことになっております。

また、本日の事業報告会の報告事項につきましては、忌憚のないご意見をいただきたいと思います。最後になりますが、ご出席の皆様方のご健勝とご活躍を祈念して開会のご挨拶とします。本日はご出席ありがとうございました。

公共測量品質管理優秀賞 2 社を表彰

日本測量協会は、平成30年度に実施した公共測量成果（基準点測量、地図作成）の検定において、品質（品質管理）が特に優れていたと認められる作業機関（測量会社）35社を6月19日発表しました。

「品質管理優秀賞」の表彰制度は、平成17年4月「公共工事の品質確保の促進に関する法律（品確法）」の施行を機に、測量成果の品質確保および測量会社の技術力向上につながることを期待し、当協会が創設したもので、今年が14回目となります。

測量成果の検定については、国や地方公共団体等が発注する公共測量は、「公共測量作業規程の準則」の中で「高精度を要する測量成果又は利用度の高い測量成果で、計画機関が指定したものについては、検定に関する技術を有する第三者機関による検定を受けなければならない。」と規定されています。これにより、公共測量として実施される大部分の測量作業の測量成果が検定の対象とな

ります。

今年、北陸地区では、基準点測量部門において(株)桑原測量社（上越市）様が2回目、(株)帝国コンサルタント様が初の受賞になりました。

表彰は、7月9日の北陸支部業務報告会に引き続いて授賞式を行い、村上副会長から記念の楯と副賞が手渡されました。



公共測量品質管理優秀賞者の方

令和元年度 北陸支部空間情報技術事例発表会開催

今年で6回目となる、令和元年度公益社団法人日本測量協会北陸支部空間情報技術事例発表会は、富山市の「グランテラス富山」において、業務報告会に引き続いて出席者約60名の中で行われました。

冒頭、鹿田支部長のから優秀賞を受賞された方には、本部が扱う空間情報技術事例報告集への投稿をオブリケーション（義務）としたいと挨拶があり、その後6名の発表者から、自身が体験した測量作業等について発表していただきました。各自発表時間15分、質疑応答5分という制約の中で、発表時間の余った人、制限時間を越えた人もおりましたが、発表のまとめ方や質問対策等大変苦労

されたことと思います。

全ての発表が終了した後、審査員以外の皆さんは懇談会場へ移動して、審査結果が出るまでの間、発表内容について和やかに歓談されておりました。審査員の方々は、別室にて発表者4名の発表内容について審査、得点集計、意見交換に移り入賞者の選考を確認しました。

今回の審査は、これまでと同様に、①発表の着眼性、②まとめ具合、③発表資料の分かり易さ、④質疑応答に対する的確性、⑤時間の適正・話し方・態度の5項目による評価基準により行なわれました。

審査の終了後、鹿田支部長の開会の挨拶に始まり、国土地理院北陸地方測量部

南雲部長から来賓の挨拶。次に審査員長の鹿田支部長から成績発表が行われ、最優秀賞に北陸コンサルタントの西中与仁さん、優秀賞に(株)新日本コンサルタントの村松達也さんが選ばれ、両名に賞状と記念品が贈呈されました。続いて審査員の富山大学教授大西宏治先生から発表会の講評がありました。

今年度は、初めての試みとして、産学の交流で富山大学の学生さん2名にも

発表して頂きました。

お忙しい中、発表にご協力いただきました会社の皆さん、審査のご協力をいただきました審査員の皆さん、本当に有り難うございました。

来年は石川県で2回目の開催を予定しておりますので、積極的な応募があることを期待しております。

空間情報技術事例発表会プログラム

◎挨拶	北陸支部長	鹿田正昭
◎発表		
『業務における三次元点群の活用事例』	北陸コンサルタント(株)	西中与仁
『ナローマルチビーム測深機(NMB)の特性を考慮した深浅測量』	(株)新日本コンサルタント	寺松孝浩
『UAVを用いた3次元測量の課題とデータ活用』	(株)新日本コンサルタント	松村達也
『地滑り地形における地下導水路の3次元計測』	(株)上智	五十嵐司
『自動車移動が認知地図に及ぼす影響』	富山大学 人文学部	沖優希
『耕作放棄地の拡大要因—富山県小矢部市南谷地区道坪野の事例から』	富山大学 人文学部	藤田拓也

◎審査員

- 審査員長 鹿田正昭(北陸支部長・金沢工業大学副学長)
- 審査員 南雲吉久(国土地理院北陸地方測量部長)
- 谷口和哉(北陸地方整備局富山河川国道事務所 工事品質管理官)
- 酒井信久(富山県土木部建設技術企画課長)
- 大生宏治(富山大学人文学部教授)
- 村上真幸(日本測量協会副会長)
- 住田英二(日本測量協会常務理事)

支部長挨拶（空間情報技術事例発表会）

鹿 田 正 昭

本日は日本測量協会北陸支部令和元年度空間情報技術事例発表会にご多忙のところご出席をいただきありがとうございました。

空間情報技術事例発表会は、当協会が平成 26 年に公益社団法人に移行し、支部総会が業務報告会に変更になったことを契機に、支部活動の活性化および若い技術者の方々の研鑽の機会と会員法人の技術の向上、本部が主催する空間情報技術事例報告集への投稿を促すことを目的として各県での持ち回りで開始し、各県を一巡し富山県では 2 回目となりました。

この 5 年間で新潟 7 人、富山 6 人、石川 6 人、福井 6 人、新潟県 4 人の計 29 人となりました。発表会の開催にあたっては、支部役員、事務局および富山県測量設計業協会の方々には大変ご尽力をいただきました。高いところからであります、衷心より感謝申し上げます。本日はこの趣旨に賛同して富山県内企業から 4 名の会員に、富山大学から 2 名の学生の方にご発表をいただくことになりました。発表者の方々にはそのご努力に深く敬意を表します。

さて、業務報告会のご挨拶でも申し述べましたが、「空間情報技術事例発表会」は、若手技術者の研鑽及び北陸支部会員法人の技術力向上を目指しているものであり、多くの企業からの参加を期待しているところです。先ほども述べましたようにこの 5 年間でのべ 29 名の方にご発表頂きました。また、今年は富山大学から 2 名の方にご発表頂きます。しかし、まだまだ発表者は少ないと感じており、「空間情報技術事例発表会」で半日を費やすくらいの発表件数を期待したいところです。ここには会員企業の代表者の方々が多く出席されていると思いますので、参加企業の技術力向上と社員の方々の研鑽コミュニケーション能力向上のために積極的に参加するように促して頂きたいと思います。また今年は学生の方々も参加されていますので、活発に情報交換をして頂ければ幸いです。

さて本日は国土地理院北陸地方測量部長の南雲吉久様、富山河川国道事務所工事品質管理官の谷口和哉様、富山県土木部建設技術企画課長の酒井信久様、富山大学人文学部教授大西宏治様、および日本測量協会副会長の村上真幸様、常務理事の住田英二様には、ご多忙のところ審査委員としてご参加いただきました。誠にありがとうございます。公平な審査をお願いしたいと存じます。

審査結果につきましては、発表会終了後の懇談会の席上で、最優秀賞 1 件および優秀賞 1 件を発表する予定です。なお、最優秀賞および優秀賞に選ばれた方には、本部が主催する空間情報技術事例報告集への投稿を義務としております。これは「空間情報技術事例報告集」に採択されますと協会が行う測量士資格の上位資格となる空間情報総括監理技術者試験の資格要件の「査読付き論文一編」としてカウントされることになります。

これまで北陸支部管内からは延べ 2 名の方が「空間情報技術事例報告集」に掲載されたことになります。

また、本部の空間情報技術事例報告集に投稿しやすいように、レジメを提出していただくようにしました。選に漏れた方々も自己研鑽のために積極的に投稿していただくことをお願いし、空間情報技術事例発表会開会のご挨拶とさせていただきます。 それでは活発な質疑応答をお願いいたします。本日はご出席ありがとうございました。

写真集

業務報告会



空間情報技術事例発表会





令和元年度 北陸支部事業計画

1. 行事等実施計画

行 事 名 等	内 容	時 期	場 所
北陸地区測量機器集中検定	北陸地区における測量機器の集中検定（長岡会場）	4 月	長岡市
北陸支部役員会	年 2 回の定例会議	5 月 12 月	富山市
公共測量品質管理優秀賞表彰	測量成果の品質確保及び測量会社の技術力向上	7 月	新潟市
北陸支部業務報告会	会員に対する北陸支部業務説明 年 1 回の定例報告会	7 月	富山市
（公社）日本測量協会北陸支部 空間情報技術事例発表会	空間情報技術者の育成と空間情報技術の一層の普及及び情報の共有化を図る	7 月	新潟市
北陸地区測量機器集中検定	北陸地区における測量機器の集中検定（富山会場）	3 月	富山市

2. 支部主催講習会計画

講 習 会 名	開催予定	会 場
測量・地図の基礎講座 測量数学・誤差学の基礎（W e b）	4 月 1 8 日	新潟市（N O C プラザ）
路線測量・用地測量	4 月 2 4 日	金沢市（地場産業センター）
第 5 回測量・地理空間情報 イノベーション大会（W e b 中継）	6 月 1 2 日～ 1 3 日	富山市（測量会館）
初めての手軽な 3 D 写真測量	7 月 4 日～ 5 日	富山市（市町村会館）
ネットワーク型 RTK による基準点測量	7 月 1 8 日	福井市（国際交流会館）
公共測量のまとめ方	8 月 2 8 日	新潟市（新潟テルサ）
電子基準点のみを既知点とする基準点測量 及び G N S S 水準測量	9 月 1 2 日	金沢市（地場産業センター）
U A V を用いた災害対応（ビデオ講習） ＜会員無料＞	9 月 2 6 日	金沢市（地場産業センター）

測量・地理空間情報技術者の為のアドバンスセミナー	10月8日	金沢市（地場産業センター）
UAVを用いた空中写真測量	11月7日	新潟市（新潟テルサ）
測量士答案練習セミナー（Web）	3月11日～15日	新潟市（NOCプラザ）
測量士補答案練習セミナー（Web）	3月26日～29日	新潟市（NOCプラザ）

参考：本部主催

講習会名	開催予定日	会場
基準点測量B課程（水準測量）実習無	5月21日～27日	富山市（市町村会館）
路線測量設計（1）e b	5月7日～10日	富山市（市町村会館）
路線測量設計（2，3）	8月5日～9日	富山市（市町村会館）

3. 会員サービス

- ① 基準点測量成果謄抄本交付申請代行事務
- ② 正会員に対する測量CPD登録代行事務（無料）
- ③ 特別会員に対する測量CPD学習履歴登録代行事務（有料）
- ④ 北陸支部報のウェブサイト刊行 年2回（7月及び1月）
- ⑤ メールマガジン「北陸支部通信」の配信 原則月1回
- ⑥ 当協会のウェブサイト「支部からのお知らせ」を活用し支部の情報提供を図る

行事等の報告

○支部役員会

役員会において、7月17日の「北陸支部業務報告会」、「空間情報技術事例発表会」及び「懇談会」について、それぞれの内容を役員に説明し、意見を伺いました。

事務局から北陸支部業務報告会の内容及び空間情報技術事例発表会と懇談

会の流れについて、説明を行いました。

また、令和元年度の北陸支部役員については、各県の（一社）県測量設計業協会役員の改選が無かったことから、退任者、新たに選任する役員はいない事を報告しました。

○「とやま地図作品研究会」総会を開催

第10回とやま地図作品研究会総会が、6月6日（木）に測量会館で開催しました。

スケジュールは、6月に県内小中学校に募集案内とチラシを配布し、9月の一ヶ月間作品を募集し、10月に一次審査、本審査会を開催して入賞作品を決定します。11月23日～24日にファボー

レで入賞作品の展示会を開催し、表彰式は展示会の初日（23日）に同会場で行うことにしています。

また、今年も最優秀作品を国土交通大臣賞・文部科学大臣賞候補作品に推せんし、その他優秀作品については、全国児童生徒地図優秀作品展に出展することになっています。

○「測量・地理空間情報イノベーション大会」を2日間にわたりWeb中継

日本測量協会が主催する「測量・地理空間情報イノベーション大会 第5回」について北陸支部では、6月12日（水）及び13日（木）の2日間にわたり、東京大学伊藤国際学術研究センターで行われた講演の模様をWeb中継しました。今年はネットでの申込を行い、両日とも20名を超える聴講がありました。準天頂衛星受信機の最

新の動向、ダイナミックマップ基盤整備状況など、普段なかなか聴くことができない演題に大変有意義に感じられたことと思います。

また、地積分野、鉄道分野、災害対応、UAVの最新技術動向と実利用など3次元測量の実態について説明がありました。

○「基準点測量B課程講習会（水準点コース）を開催

令和元年5月21日（火）から5月7日（月）までの間、富山市の「測量会館」において、『基準点測量B課程講習会（基準点コース）を開催しました。

最新の基準点測量に関する知識と理論及び計画から成果品までの幅広い技術を付与する講習会です。「作業規程の準則」及び同記載要領に基づく、基準点成果品の品質確保を目的とした演習主体の講義内容に変更されています。

また、地理空間情報専門技術者（基準点測量2級）の科目であるTS基準

点測量とGNSS基準点測量の認定試験も実施され、技師クラスの技術者を養成する事を目的とした同認定試験によりこれらの水準に達しているかどうかを評価しました。

受講者の多くは、北陸地域からの参加者でしたが、この時期に開催される基準点B課程の講習の地方開催が少なかったことから、鹿児島県、兵庫県、大阪府、高知県など遠方から参加の受講者の方もいました。

○「初めての手軽な3D写真測量」講習会開催

令和元年7月4日（木）・5（金）に富山市の「市町村会館」において、『初めての手軽な3D写真測量』講習会を開催しました。

市販のデジタルカメラを用いて実習形式で行い、ソフトウェアで画像処理することにより複数の航空写真から3Dモデルを作成するまでの技術的な基本要素となる「デジタル写

真測量技術」に関して実際にデジタルカメラのキャリブレーションから撮影、3D写真モデル作成に至るまでを学習しました。受講者からは「写真測量の基礎から画像データの処理まで一連の流れが理解できた。」と非常に評価の高い講習会でした。

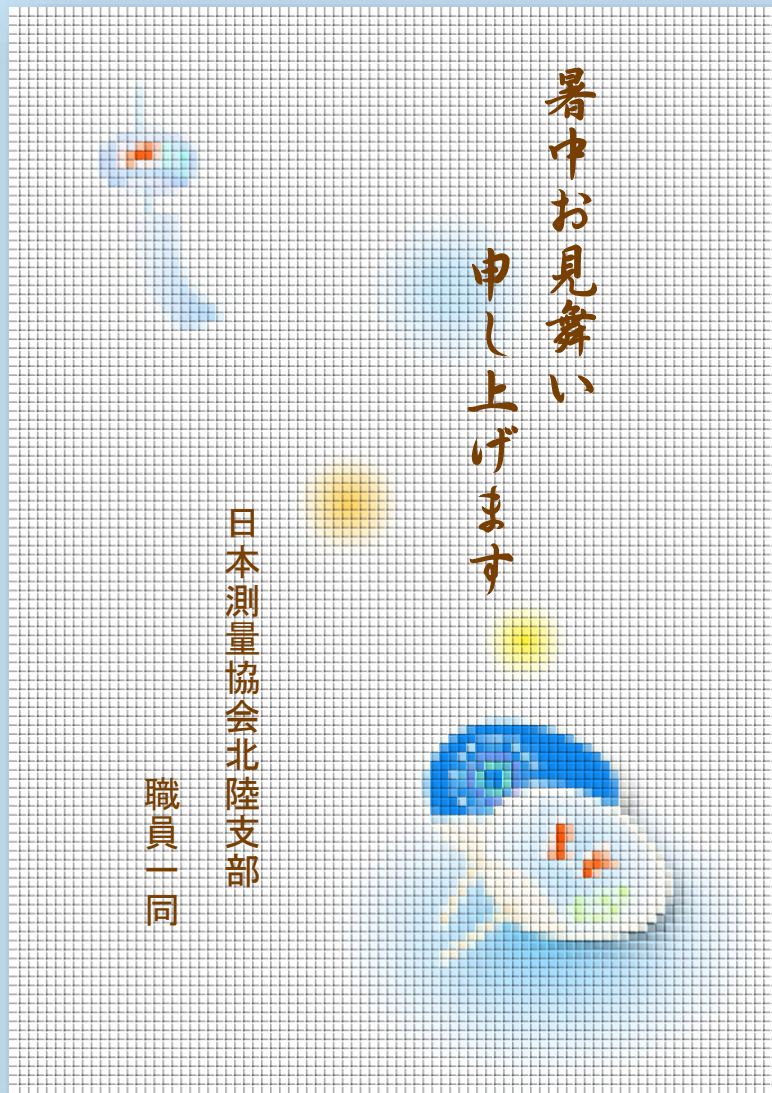
会員の増減状況

会員種別	H30. 7. 31 現在	R 元. 7. 31 現在	増減	新潟県	富山県	石川県	福井県
正 会 員	5 5 9	5 7 7	+ 1 8	2 8 3 (+ 5)	1 1 1 (+ 2)	1 2 7 (+ 1 3)	5 6 (- 2)
準 会 員	2	0	- 2	0 (- 2)	0 (± 0)	0 (± 0)	0 (± 0)
特別会員	1 7 5	1 7 4	- 1	8 2 (± 0)	3 9 (- 1)	3 5 (± 0)	1 9 (± 0)
計	7 3 6	7 5 1	+ 1 5	3 5 9 (+ 3)	1 5 3 (+ 1)	1 4 3 (+ 1 3)	7 9 (- 2)

測量CPD及び技術者継続教育証明制度(SUCCESS)の登録、更新を行いましょう。

日本測量協会の正会員が、過去最高の13,000人を突破しました。また、測量CPDの登録者も20,000人を越えています。

北陸支部においても正会員は、増加しており令和元年7月末で577名に達しています。



☒ ∞ ∞

∞ ∞ ∞ ☒ ∞ ∞ ∞ ∞ ∞ ☒ ∞ ∞ ∞ ∞ ∞ ☒ ∞ ∞ ∞ ∞ ∞ ☒ ∞ ∞

編集・発行 公益社団法人 日本測量協会 北陸支部

〒939-8094 富山市大泉本町 1-12-14 (測量会館内)

○ 事務局 ・ TEL 076 (422) 3305 ・ FAX 076 (422) 3403

E-mail hokuriku@jsurvey.jp

○ 技術センター ・ TEL 076 (421) 5445 ・ FAX 076 (422) 3403

E-mail hokuriku@geo.or.jp

☒ ∞ ∞ ∞ ∞ ∞ ☒ ∞ ∞ ∞ ∞ ∞ ☒ ∞ ∞ ∞ ∞ ∞ ☒ ∞ ∞ ∞ ∞ ☒

